

# 1982年 大会記録

## 国際

### ◇メドベジ国際大会=フリースタイル (2月19~21日、ソ連・ミンスク)

▼48kg級 石川真一 (国士大) = 7位、▼52kg級 佐藤満 (日体大) = 5位、▼57kg級 上野宏之 (群馬・館林高教) = 二失、▼62kg級 榮和人 (日体大) = 三失、五位塚悟 (大東大) = 7位

### ◇コンコード国際大会=グレコローマン (5月29~30日、米国・コンコード)

▼48kg級 佐々木文和 (島根県庁) = 4位、▼52kg級 浦本善朗 (滋賀県庁) = 4位、▼57kg級 手銭利蔵 (島根県庁) = 5位、▼62kg級 藤田勅 (自衛隊) = 二失、▼68kg級 松林栄 (島根県庁) 三失、中島則行 (日体大) = 四失、▼74kg級 池乗貞明 (島根県庁) = 6位、▼82kg級 森山泰年 (自衛隊) = 二失

### ◇世界選手権=フリースタイル (8月11~14日、カナダ・エドモントン)

▼48kg級 石川真一 (国士大) = 三失、▼52kg級 朝倉利夫 (鹿児島県体教) = 三失、▼57kg級 富山英明 (日大教) = 2位、▼62kg級 金子博 (群馬・西邑楽高教) = 四失、▼68kg級 上村政和 (日大) = 三失、▼74kg級 菊地隆 (和歌山県教委) = 4位、▼82kg級 太田章 (早大助) = 4位、▼90kg級 鈴木光 (ユナイテッドスティール) = 6位、▼100kg級 石森宏一 (大体大) = 二失、▼100kg級以上 松永清志 (和歌山県教委) = 二失

### ◇世界選手権=グレコローマン (9月9~12日、ポーランド・カトピツェ)

▼48kg級 斉藤育造 (専大) = 三失、▼52kg級 宮原厚次 (自衛隊) = 6位、▼57kg級 柏木究 (国士大助) = 三失、▼62kg級 長内清一 (三八教育事務所) = 四失、▼68kg級 南敏文 (滋賀県体教) = 二失、▼74kg級 向井孝博 (自衛隊) = 四失、▼82kg級 森山泰年 (自衛隊) = 四失、▼90kg級=派遣なし、▼100kg級 藤田芳弘 (和歌山・和歌山北高教) = 二失、▼100kg級以上=派遣なし

### ◇ワールドカップ=グレコローマン (11月26~28日、ハンガリー・ブダペスト)

4位 (3勝2敗)

1回戦 日本● [2-8] ハンガリー

2回戦 日本○ [6-4] 米国

3回戦 日本● [2-8] ソ連

4回戦 日本○ [6-4] 欧州選抜

5回戦 日本○ [7-3] エジプト

《個人順位》▼48kg級 蝦名康一（自衛隊）=5位、▼52kg級 宮原厚次（自衛隊）=優勝、▼57kg級 江藤正基（自衛隊）=優勝、▼62kg級 長内清一（三八教育事務所）=2位、▼68kg級 山口勝之（和歌山県教委）=4位、▼74kg級 谷一郎（群馬・太田工高教）=4位、▼82kg級 森山泰年（自衛隊）=4位、▼90kg級 今村民夫（自衛隊）=6位、▼100kg級 藤田芳弘（和歌山・和歌山北高教）=6位、▼100kg級以上 武田高広（専大）=5位

◇アジア大会=フリースタイル（11月28日～12月2日、インド・ニューデリー）

▼48kg級 小林孝至（日大）=優勝、▼52kg級 朝倉利夫（鹿児島県体教）=優勝、▼57kg級 富山英明（日大教）=優勝、▼62kg級 金子博（群馬・西邑楽高教）=優勝、▼68kg級 上村政和（日大）=2位、▼74kg級 菊地隆（和歌山県教委）=二失、▼82kg級 茂木優（秋田・秋田商高教）=5位、▼90kg級 太田章（早大助）=3位、▼100kg級 鈴木光（ユナイテッドスティーラ）=4位、▼100kg級以上 松永清志（和歌山県教委）=5位

※フリースタイルのみ

◇ハパラダ国際大会=グレコローマン（12月11～12日、スウェーデン・ハパラダ）

▼48kg級 蝦名康一（自衛隊）=5位、▼52kg級 宮原厚次（自衛隊）=2位、▼57kg級 江藤正基（自衛隊）=優勝、三宅正徳（日体大）=三失、▼62kg級 長内清一（三八教育事務所）=5位、大久保康裕（自衛隊）=4位、▼68kg級 山口勝之（和歌山県教委）=優勝、中島則行（日体大）=四失、▼74kg級 谷一郎（群馬・太田工高教）=三失、▼82kg級 森山泰年（自衛隊）=5位、▼90kg級 今村民夫（自衛隊）=二失、▼100kg級 藤田芳弘（和歌山・和歌山北高教）=5位、▼100kg級以上 武田高広（専大）=4位

国内

◇全国高校選抜大会（4月2～3日、新潟・新潟市体育館）

《学校対抗戦》[1] 青森・光星学院高（2年連続3度目）、[2] 鹿児島・鹿児島商工、[3] 長崎・島原、千葉・八千代松陰

《個人戦優勝者》▼48kg級 山下浩（茨城・霞ヶ浦）、▼52kg級 下沢明夫（青森・光星学院）、▼56kg級 森下敏清（茨城・霞ヶ浦）、▼60kg級 斎藤新治（青森・光星

学院)、▼65kg 級 赤石光生(青森・光星学院)、▼70kg 級 坂野下喜三(青森・光星学院)、▼75kg 級 堅山保文(鹿児島・鹿児島商工)、▼75kg 以上級 室家伸行(和歌山・和歌山北)

**◇西日本学生春季新人戦=フリースタイル(4月29日、大阪・桃山学院大)**

《優勝者》▼48kg 級 高田英樹(関大)、▼52kg 級 田中智(関大)、▼57kg 級 前田一彦(大体大)、▼62kg 級 田中信悟(近大)、▼68kg 級 糸川長武(同志社大)、▼74kg 級 田中正昭(同志社大)、▼82kg 級 川口豊隆(大体大)、▼90kg 級 奥村広人(同志社大)

※フリースタイルのみ

**◇東日本学生リーグ戦(5月14~16・22日、東京・駒沢体育館)**

《順位》[1] 日体大(4年連続5度目)[2] 日大

(A組)[1] 日体大、[2] 国士大、[3] 中大、[4] 東洋大、[5] 法大、[6] 拓大

(B組)[1] 日大、[2] 専大、[3] 大東大、[4] 明大、[5] 東海大、[6] 東農大

**◇西日本学生選手権(5月28~30日、大阪・大阪府立体育会館別館)**

《フリースタイル優勝者》▼48kg 級 豊田育男(福岡大)、▼52kg 級 国広幸信(徳山大)、▼57kg 級 秋山徳久(福岡大)、▼62kg 級 小野憲一(近大)、▼68kg 級 松浦雄二(福岡大)、▼74kg 級 和泉憲明(徳山大)、▼82kg 級 ピーター・ガターソン(カナダ)、▼90kg 級 ブレイク・ダーモット(カナダ)

《グレコローマン優勝者》▼48kg 級 田中一成(桃山学院大)、▼52kg 級 国広幸信(徳山大)、▼57kg 級 スコット・テート(カナダ)、▼62kg 級 井手雅博(福岡大)、▼68kg 級 田中正昭(同志社大)、▼74kg 級 和泉憲明(徳山大)、▼82kg 級 ピーター・ガターソン(カナダ)、▼90kg 級 石森宏一(大体大)

**◇全日本社会人選手権(5月29~30日、国士館大体育館)**

《団体戦優勝チーム》▼官公庁 自衛隊、▼実業団 ユナイテッドスティール、▼クラブ 和歌山クラブ

《フリースタイル優勝者》▼48kg 級 石川利明(栃ノ葉ク)、▼52kg 級 細川晃二(クラリオン)、▼57kg 級 鈴木康文(自衛隊)、▼62kg 級 金子博(群馬県協会)、▼68kg 級 多賀恒雄(国士大ク)、▼74kg 級 南正昭(宮崎ク)、▼82kg 級 小出日出夫(千

葉県協会)、▼90kg級 浅野修(千葉県協会)、▼100kg級 石川淳(自衛隊)、▼100kg以上級 山本邦寿(滋賀県体協)

《グレコローマン優勝者》▼48kg級 蝦名康一(自衛隊)、▼52kg級 福山雄二(自衛隊)、▼57kg級 宮原厚次(自衛隊)、▼62kg級 阿佐雄二(自衛隊)、▼68kg級 中島光正(群馬県協会)、▼74kg級 南敏文(滋賀県体育館)、▼82kg級 長島偉之(栃ノ葉ク)、▼90kg級 伊沢厚(警視庁)、▼100kg級 谷口聖平(木口道場)、▼100kg以上級 松永清志(和歌山ク)

#### ◇東日本学生春季新人戦(6月18~20日、東京・青少年総合センター)

《フリースタイル優勝者》▼48kg級 小林孝至(日大)、▼52kg級 上島一敏(国士舘大)、▼57kg級 田中雅之(東洋大)、▼62kg級 渡部裕一(日大)、▼68kg級 湯浅邦茂(日体大)、▼74kg級 安田紀久雄(日体大)、▼82kg級 水橋徹(国士舘大)、▼90kg級 千葉裕司(早大)、▼90kg以上級 本田多聞(日大)

《グレコローマン優勝者》▼48kg級 小林孝至(日大)、▼52kg級 上島一敏(国士舘大)、▼57kg級 田中雅之(東洋大)、▼62kg級 大町忠雄(国士舘大)、▼68kg級 奥村拓生(国士舘大)、▼74kg級 湯浅邦茂(日体大)、▼82kg級 水橋徹(国士舘大)、▼90kg級 林久雄(法大)、▼90kg以上級 東政弘(日体大)

#### ◇西日本学生春季リーグ戦(6月25~27日、大阪・大阪府立体育会館別館)

《順位》[1] 福岡大(3季ぶり10度目)、[2] 同志社大、[3] 近大、[4] 徳山大、[5] 大体大、[6] 名商大

#### ◇全日本選手権(7月9~11日、群馬・城沼総合体育館)

《フリースタイル優勝者》▼48kg級 石川真一(国士大)、▼52kg級 朝倉利夫(鹿児島県体教)、▼57kg級 富山英明(日大教)、▼62kg級 金子博(群馬・西邑楽高教)、▼68kg級 上村政和(日大)、▼74kg級 菊地隆(和歌山県教委)、▼82kg級 茂木優(秋田・秋田商高教)、▼90kg級 太田章(早大教)、▼100kg級 石川淳(自衛隊)、▼100kg級以上 松永清志(和歌山県教委)

《グレコローマン優勝者》▼48kg級 斉藤育造(専大)、▼52kg級 宮原厚次(自衛隊)、▼57kg級 柏木究(国士大助)、▼62kg級 長内清一(三八教育事務所)、▼68kg級 南敏文(滋賀県体教)、▼74kg級 向井孝博(自衛隊)、▼82kg級 森山泰年(自衛隊)、▼90kg級 保坂竹道(北日本通商)、▼100kg級 藤田芳弘(和歌山・和歌山北高教)、▼100kg級以上 三宅勝(専大)

**◇インターハイ（8月3～6日、鹿児島・大口市総合体育館）**

《学校対抗戦》[1] 青森・光星学院（3年ぶり3度目）、[2] 鹿児島・鹿児島商工、  
[3] 福岡・築上西、群馬・館林

《個人戦優勝者》▼48kg級 山下浩（茨城・霞ヶ浦）、▼52kg級 下沢明夫（青森・光星学院）、▼56kg級 森下敏清（茨城・霞ヶ浦）、▼60kg級 斉藤新治（青森・光星学院）、▼65kg級 赤石光生（青森・光星学院）、▼70kg級 坂野下喜三（青森・光星学院）、▼75kg級 伊藤敦（北海道・岩見沢農）、▼75kg級以上級 浅井功（兵庫・神戸西）

**◇全日本学生選手権（8月26～29日、東京・駒沢体育館）**

《フリースタイル優勝者》▼48kg級 小林孝至（日大）、▼52kg級 佐藤満（日体大）、▼57kg級 佐藤新（日体大）、▼62kg級 五位塚悟（大東大）、▼68kg級 上村政和（日大）、▼74kg級 岸本茂範（中大）、▼82kg級 西村公夫（専大）、▼90kg級 水橋徹（国士舘大）、▼100kg級 本田多聞（日大）、▼100kg級以上 石森宏一（大体大）

《グレコローマン優勝者》▼48kg級 小林孝至（日大）、▼52kg級 大川秀和（日体大）、▼57kg級 三宅正徳（日体大）、▼62kg級 栄和人（日体大）、▼68kg級 中島則行（日体大）、▼74kg級 樋口直己（日体大）、▼82kg級 東出徹（日体大）、▼90kg級 福辺雅彦（日体大）、▼100kg級 石森宏一（大体大）、▼100kg級以上 大川浩一（日大）

**◇西日本学生新人戦（9月11～12日、大阪・桃山学院大）**

《フリースタイル優勝者》▼48kg級 木戸敬之（同志社大）、▼52kg級 吉峯征爾（桃山学院大）、▼57kg級 福川敦（桃山学院大）、▼62kg級 石川修（桃山学院大）、▼68kg級 窪田直人（同志社大）、▼74kg級 関口勉（関大）、▼82kg級 田中正昭（同志社大）、▼90kg級 川口豊隆（大体大）

《グレコローマン優勝者》▼48kg級 木戸敬之（同志社大）、▼52kg級 吉峯征爾（桃山学院大）、▼57kg級 青木孝至（桃山学院大）、▼62kg級 石川修（桃山学院大）、▼68kg級 朝熊一夫（名商大）、▼74kg級 田中正昭（同志社大）、▼82kg級 船木剛（桃山学院大）、▼90kg級 奥村広人（同志社大）

**◇全日本学生王座決定戦（9月24～25日、東京・駒沢体育館）=決勝記録**

日体大○ [6-3] ●日大

※日体大は5年連続6度目の優勝

◇国体（10月3～6日、島根・川本高）

《成年フリースタイル優勝者》▼48kg級 石川利明（栃木・足利工大付高教）、▼52kg級 清水清人（宮崎・日南高教）、▼57kg級 上野宏一（群馬・舘林高教）、▼62kg級 栄和人（鹿児島・日体大）、▼68kg級 宮原章（秋田・松永製あん）、▼74kg級 樋口直巳（三重・日体大）、▼82kg級 茂木優（秋田・秋田商高教）、▼90kg級 山本隆（島根・県立武道館）、▼100kg級 森康哲（徳島・山瀬農協）、▼100kg以上級 石森宏一（大阪・大体大）

《成年グレコローマン優勝者》▼48kg級 佐々木文和（島根・県教委）、▼52kg級 宮原厚次（埼玉・自衛隊）、▼57kg級 柏木究（徳島・国府養護教）、▼62kg級 長内清一（青森・三八教育事務所）、▼68kg級 山口勝之（和歌山・県教委）、▼74kg級 谷一郎（群馬・大田工高教）、▼82kg級 伊沢厚（東京・警視庁）、▼90kg級 佐藤貞雄（山口・くらしげ）、▼100kg級 藤田芳弘（和歌山・和歌山北高教）、▼100kg以上級 石井信也（神奈川・中原中教）

《少年フリースタイル優勝者》▼48kg級 山下浩（茨城・霞ヶ浦）、▼52kg級 下沢明夫（青森・光星学院）、▼56kg級 森下敏清（茨城・霞ヶ浦）、▼60kg級 斎藤新治（青森・光星学院）、▼65kg級 赤石光生（青森・光星学院）、▼70kg級 坂野下喜三（青森・光星学院）、▼75kg級 伊藤敦（北海道・岩見沢農）、▼81kg級 堅山保文（鹿児島・鹿児島商工）、▼87kg級 山本哲也（和歌山・新宮）、▼87kg以上級 浅井功（兵庫・神戸西）

《少年グレコローマン優勝者》▼48kg級 藤波俊一（三重・桑名工）、▼52kg級 黒飛健（静岡・修善寺工）、▼56kg級 渡辺専一（秋田・秋田西）、▼60kg級 川島輝己（群馬・舘林）、▼65kg級 有延伸一（福岡・築上西）、▼70kg級 長谷川 幸生（千葉・銚子商）、▼75kg級 奈良岡豊（青森・光星学院）、▼81kg級 武藤光一（岐阜・岐阜南工）、▼87kg級 呑香竜二（青森・光星学院）、▼87kg以上級 室家伸行（和歌山・和歌山北）

◇東日本学生グレコローマン選手権（10月17日、東京・青少年総合センター）=決勝

成績

日体大○ [6-3] ●専大

※

◇全日本大学選手権（11月2～3日、大阪・大阪府立体育会館）

《優勝者》▼48kg 級 小林孝至（日大）、▼52kg 級 佐藤満（日体大）、▼57kg 級 井上智明（国士舘大）、▼62kg 級 五位塚悟（大東大）、▼68kg 級 上村政和（日大）、▼74kg 級 樋口直巳（日体大）、▼82kg 級 福辺雅彦（日体大）、▼90kg 級 東出徹（日体大）、▼90kg 級以上 本田多聞（日大）

《大学対抗得点》[1] 日体大（6年連続7度目）、[2] 日大、[3] 専大

**◇東日本学生秋季新人戦（11月25～27日、東京・青少年総合センター）**

《フリースタイル優勝者》▼48kg 級 高地伸夫（拓大）、▼52kg 級 塩本頭三（東洋大）、▼57kg 級 上島一敏（国士舘大）、▼62kg 級 西真太郎（日体大）、▼68kg 級 森巧（国士舘大）、▼74kg 級 湯浅邦茂（日体大）、▼82kg 級 松井浩幸（東農大）、▼90kg 級 水橋徹（国士舘大）、▼90kg 以上級 大川浩一（日大）

《グレコローマン優勝者》▼48kg 級 高地伸夫（拓大）、▼52kg 級 綾井俊行（専大）、▼57kg 級 上島一敏（国士舘大）、▼62kg 級 芦野茂美（日体大）、▼68kg 級 森巧（国士舘大）、▼74kg 級 平山宣伸（日体大）、▼82kg 級 湯浅邦茂（日体大）、▼90kg 級 水橋徹（国士舘大）、▼90kg 以上級 本田多聞（日大）

**◇西日本学生秋季リーグ戦（11月26～28日、大阪・大阪府立体育会館別館）**

《順位》[1] 福岡大（2季連続11度目）、[2] 徳山大、[3] 同志社大、[4] 近大、[5] 大体大、[6] 名商大